

つばさ

平成 29 年度 生涯学習課だより

第 306 号 (10 月)



教育長 佐々木浩治

10 月を迎え、北海道にとっては収穫をはじめ、秋の良さを感じる季節となりました。

今回は、「文化の秋」にちなみ、10 月について調べてみました。10 月は、英語で「october」と表記されますが、「octo」はラテン語で「第 8 の」という意味を持っています。「10 番目ののに 8 月？」という疑問を持たれると思いますが、これは紀元前 46 年まで使用されていたローマ暦が 3 月を年の初めにしていたので、第 8 番目の月が 10 月となったのです。

また、日本では 10 月を「神無月」(かんなづき)と呼びますが、出雲地方では「神在月」(かみありづき)と呼びます。これは、この月に日本中の神様が出雲の出雲大社に集まり 1 年のことを話し合うため、出雲以外の国には神様がいなくなるからだと言われています。このお話は知っている人も多いと思いますが、この説は平安時代から伝わった話で、言語学的には根拠のない「民間語源」とされています。また、「かんな月」の語源としては「醸成月」(かみなしづき)、「神嘗月」(かんなめづき)、「神な月」(かんなづき)、「雷無月」(か

みなしづき) などの説があります。

「出雲大社」が出てきましたので加えますと、皆さんは「出雲大社」をどのように読んでいるのでしょうか? 「いずもたいしゃ」と呼ぶ方が多いと思いますが、本来は「いずもおおやしろ」と呼ぶことが正しいそうです。(正仮名遣いでは、「いづもおほやしろ」と使うとのことでした。)

これらのお話が、少しでも皆さんに興味を持っていただければ幸いです。

さて、今後の予定としては、14 日に公民館講座の「礼文華山道探索会」、そして 15 日には町内 3 小学校の学芸会や学習発表会が行われます。

また、今年度の総合文化祭については、展示部門が 11 月 2 日から 11 月 5 日までの 4 日間、そして芸能発表部門が 4・5 日に行く予定となっております。

今年も、より多くの方々にご参加いただけることを願っております。

放課後 子ども教室 2コマ劇場 (7・8 月活動)

放課後子ども教室も半年が経とうとします。子どもたちも慣れて生き活きと活動しており、写真からもそれが見てとれますね。

水ニモ負ケズ



川の中も何するものぞ



長靴の意味なし?

巨大シャボン玉の罨



大きいのできた〜!

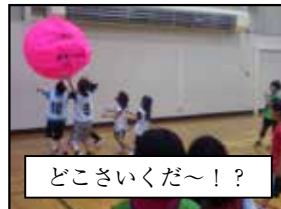


閉じ込められた!?

ふうてんな風さん



でっかい風船じゃ〜!



どこさいくだ〜!?

心はずでに料理の鉄人



ちゃんとあってる?



上手に焼きました!